

教育広報

いわみざわ市の教育

＜特集＞

岩見沢市の学校給食



通信衛星とテレビ会議を利用した双方向遠隔学習が今年度も始まっています。全国でも例がない特色ある教育手法として注目されています。



特集

岩見沢市の 学校給食



食育とは？

最近、よく耳にするようになった「食育」という言葉は、実は決して新しい言葉ではなく、明治時代の頃からありました。食育は、体育・知育・徳育と並ぶ日本教育の重要な教えるのひとつとして用いられてきましたが、それがいつしか、体育・知育が重要視され、徳育・食育が忘れられてきたのです。近年、生活環境の変化や子どもたちの食行動などが問題視されるようになり、今、改めて「食育」が注目されています。

「食」という漢字は、
“人を良くする”（人+良）と
書きます。
人は食べ物しだいですね。
食育は、人を良くする教育で
ありたいものです。



岩見沢市の学校給食
キャラクター「たんたん」

昨年7月には、食育基本法が制定され、社会全体の問題として食育が考えられるようになりました。子どもたちの健全な発育に食の問題は欠かせないものです。

食育というところに一番重要な味覚は、10歳くらいまでに決まるといわれており、幼い頃からの食事を軽んじることはできません。子どもたちには、自分の食事や健康のことに興味・関心を持ち、自分自身のことを考えながら選択し食事ができるような大人に成長してほしいものです。

食育とは、生きる上での基本であり、様々な経験を通して「食」に関する知識と「食」を選択する力を身につけ、健全な食生活を実践することができる人間を育てることなのです。日常的に子どもたちと関わる大人全員で考えなければならない課題だといえます。

学校での食育!!

現在、市内には学校栄養職員が5名配置されており、給食の調理や衛生管理に関わる業務、食に関する指導等を行っています。今年度からは、栄養職員が一部の学校に兼務配置されており、学校との連携を一層深めながら、より充実した栄養指導の展開と学校給食の提供に努めているところです。

学校給食は、毎日の食事の3分の1にすぎませんが、年間を通すと約190回もあり、毎日繰返し指導ができる大切な時間です。学校での食の第一歩は、まず集団の中で楽しく食べられるようになること、そして、食べ物やそれを作ってくれている人たちに興味・関心



食指導「献立を考えよう」(中学2年家庭科)

が持てるようになることです。

短い給食時間の中で、栄養職員がその日の食材のことや調理のことなどを繰り返し話すことで、子どもたちは少しずつ気づくことがあるかと思えます。当たり前のように食事を食べ残す子どもたちとともに、「食」の大切さを一緒に学んでいけるような給食時間でありたいものです。そして、学校での食の指導から家庭へと広げていければと考えています。



給食の準備をする児童たち

地産地消と給食

地産地消とは、その土地で生産されたものをその土地で消費することにあります。

岩見沢市の学校給食でも、季節や生産量、納入方法などを考慮しながら岩見沢の食材を献立に取り入れています。しかし給食は、単に地元食材を消費することが目的ではなく、地元食材を通じて、地域のよさや文化などを知り、それらを大切にすることを育てるということをねらいとしています。

地元食材には、安心と新鮮が一緒に購入できるという大きなメリットがあり、また、「自分と同じ地域で採れた作物は、自分と同じ水と空気を吸って育っているから、自分の体に一番合っている」という話もあり、子どもたちにとって一番良いことだと思います。

地元食材を食べる本当の意味を学び、子どもたちが地元食材に関心を持ち、生産者や食べ物に感謝する気持ちを育てていけるような『顔の見える給食』を目指しています。

今年度は主食に注目

さて皆さんは、岩見沢で小麦が収穫されているのをご存知ですか？

岩見沢市内では、「キタノカオリ」という秋まきの小麦が数年前から生産されており、収穫量も年々増えています。

学校給食では、昨年度からキタノカ

オリをパンやラーメンに少しずつ取り入れてきましたが、今年4月からは給食用のパンとラーメンに使用する小麦粉を100%岩見沢産のキタノカオリにしています。また、米も岩見沢で収穫されたものを100%使用しています。

主食が地元で賄えることはとても幸せなことであり、家庭でも是非、地元米・地元小麦を食べてほしいと思います。



岩見沢産小麦「キタノカオリ」



問合先 学校給食課(TEL)22局40008

みんなの学校づくり

■市内26の小・中学校・市立高校を順次紹介■

花壇づくりと防災訓練

岩見沢小学校

毎年6月、地域の方々と一緒に学校前歩道の花壇に花の苗を植え育てる活動をしています。子どもたちの自主性・社会性・責任感を培いながら、植物に親しみ自然に対する関心を高めています。
 また、9月には、地震を想定した避難訓練とあわせて地域防災訓練を実施し、避難場所の確認や消火訓練・放水演習などを行い、防災に対する意識を高めています。



校舎周辺の整備活動

中央小学校

5月20日(土)、PTAの役員さん、事務局が中心となり、各家庭に呼びかけた「校舎周辺の整備活動」が実施されました。当日は、教職員を含め60名余の参加があり、教材園やベンチの塗装、グラウンド整備等広範囲にわたった作業が行われました。
 参加された保護者、地域の方々は、参観日等とはまた違った意味での交流が深まったようです。
 こういう活動が、学校の教育活動を支えてくれます。



田植え集会

北村小学校

5月22日(月)、学校前にある学校田での田植え集会。地域の方や土地改良区の方々に植え方の指導や支援をしていただきながら、3年生以上での田植えです。品種は「ほしのゆめ」と「はくちようもち」。この後、草取り、観察、稲刈り、脱穀、収穫祭と取り組みます。祖父母参観日には稲作に関する研究発表をし、収穫した餅米で餅つきをします。また、収穫した米は、調理実習や給食にも使用しています。昨年度は豊作で約300kgの収穫がありました。今年も豊作でありますように！



除雪ボランティアと花壇づくり

東光中学校

毎年1月には独居老人宅の除雪ボランティア、6月には花壇づくりをPTAの皆さんや地域の皆さんとともにを行っています。

生徒はボランティアとして参加を募集しますが、除雪では280名、花壇（花壇整備と移植の2回）では延べ120名の生徒が参加し、地域・保護者・先生・生徒が協力しながら作業をしています。特に除雪ボランティアでは、町内会あげてこの活動を支援していただいている地域もあり、普段お世話になっている地域の皆さんへの恩返しのためにも生徒も頑張って作業を進めています。



地域に学ぼう〜茶道と陶芸〜

栗沢中学校

栗沢中学校では、近隣在住の芸術家が多いこと、また「栗沢更生保護女性会」が活発に活動していることなど、地域の特性を生かした教育活動に取り組んでいます。昨年度は、3年生の総合的な学習の時間に「地域に学ぼう」をテーマとして「茶道教室」を行いました。講師は栗沢更生保護女性会の方々にお願いしました。また、市内在住の陶芸家・近藤尚先生を講師に招いての「陶芸教室」は、選択教科として実施5年目になります。



ボランティア除雪と花壇づくり

緑陵高等学校

本校のボランティア同好会が中心となり、野球部・サッカー部の1・2年生も参加して、今年2月に町内会9棟の除雪を行いました。生徒55名と町内会会員10名が9班に分かれて独居老人宅を訪問し、よく作業内容を聞いて、丁寧に除いた雪を近くの雪捨て場まで汗を流しながら運びました。また、5月28日(土)には、通学路にある町内会の花壇に本校のボランティア同好会11名が町内会の方々と一緒に花を植えました。



今回は、南小学校、志文小学校、栗沢小学校、光陵中学校、美流渡中学校を紹介します。

市P連の 活動紹介

市P連は学校の応援団です！

4月28日(金)、岩見沢市PTA連合会
は総会を無事終了し、西方洋昭会長を
はじめとする新体制のもと、平成18年
度の活動をスタートさせました。

市P連は、岩見沢市の子どもたちの
健全育成をめざし、学校と各単P、そ
して市教委と連携を図りスクラムを組
んで、様々な取り組みを進めています。
今年度、市P連は市町村合併により、
加盟単Pが(義務教育で)25校に増え
ました。市P連会員数は6千名を超え、
南空知地区でも3分の2を占めるほど
の大部分となりました。南空知P連に
おいても、市P連の活動は大きなもの
となっており、会員の熱意を結集して、
成果をあげていきたいと考えています。

市P連は、各単Pの連合体です。各
単Pでの会員の活躍が市P連の活動を
支えていただくこととなります。現在、
各単Pでは、各種行事や研修などを積
極的にこなしながら、それぞれの学校
の特色ある教育活動の推進に地域とこ
もに側面から協力して子どもたちの健
全育成に努めています。「みんなの学校
づくり」推進事業などでは、各PTA
がアイディアを凝らして集会活動など
実施しています。そのような各学校と
の連携が広がり、市内全域で「みんな
の学校づくり」がPTAを中核として
推進されるよう願っています。

また母親委員会では、子どもたちの
健全育成に資するように、食育の重
要性とあわせて食の大切さや歯の健康
などを取り上げ、研修活動を進めてい
きます。

◇ 岩見沢市の子どもたちを一番にする

教育への思いを受け、市P連も応援団
として各単Pの会員とともに岩見沢市
の教育の充実・発展に寄与していき
たいと考えています。今年度は、南空知
P連の会長・事務局も担当します。市
P連研究大会も南空知P連研究大会と
あわせて開催いたしますので、多数の
会員や市民の皆様の参加をお待ちし
ています。

南空知P連・

市P連研究大会

を岩見沢市で開催!!

9月23日(土) まなみーる

今年度の岩見沢市PTA連合会研究
大会は、南空知PTA連合会研究大会
と兼ねて9月23日(土)に「まなみーる」
を主会場として開催します。

本大会では、基調講演をはじめ、市
内各地域の特色を生かした魅力ある体
験講座を行います。

講演では、家族愛や地域愛など、子
どもたちを想う「愛」を基本コンセプ
トに、子育て、家族の絆、地域との関
わり等に視点を当てたいと思っていま
す。

また、例年続いていきます体験講座も
「感じる・創る・食する」を題材とし
た内容を予定していますので、多数の
皆様の参加をお待ちしています。

〈問合先〉

岩見沢市PTA連合会事務局

事務局次長 伊藤 祐輔

(志文小学校 教頭)

(TEL) 22局 46889 (FAX) 22局 98884

私たちは

子どもたちみんなの

「おやじ」です

おやじの背中実行委員会

地震、雷、火事、親父：昔は怖いも
のの代名詞でしたが、今も昔も子ども
たちを思う深い愛情は、父親も母親も
同じです。

平成17年度に市教委と各単P会長有
志が集まって「おやじの背中」実行委
員会を立ち上げました。子どもたちの
ために汗を流してがんばる「おやじ」
たちです。市内の子どもたちみんなが
可愛い我が子なんです。子どもたちの
ために、いろいろなことを企画し実行
します。今年は、高校生との交流を企
画し、不平不満や困っている事、悩ん
でいる事など、悩める高校生の考えや
意見・要望を聞くと思っています。
我こそはと思つ世の中の「おやじ」
たちのご参加をお待ちしています。

問合先 女性青少年課 (TEL) 23局 4111



いわみざわ公園パークゴルフ場「ローズパーク」
オープニングテープカット

得、市のスポーツ施設の指定管理者を務める等、これまで以上に、岩見沢市のスポーツ振興、市民の健康増進のために、中心的、主体的な役割を担っています。

市民皆スポーツ ～健康はスポーツから NPO法人 岩見沢市体育協会

「体協」という愛称で、スポーツを楽しむ市民の中心となって活動を続けている岩見沢市体育協会(倉増昭一会長)は、現在26団体8千150人が加盟しており、昭和23年設立という50年を超える歴史を持っています。今年1月には、特定非営利活動法人(NPO法人)格を取



今年度から指定管理者として管理している施設は、東山公園のテニスコートと弓道場、岡山スポーツフィールドです。それぞれの施設では、加盟団体の方々を中心に、より利用者の視点に立った管理を進めています。来春オープンを目指して現在工事中の東山公園陸上競技場に、秋から事務所が置かれる予定です。

新岩見沢市の今後のスポーツ振興に、その活躍が期待されています。



東山公園テニスコート

地元でがんばる演劇集団

演劇コミュニティ@enGeki.net

演劇コミュニティ@enGeki.net(アットマークエンゲキドットネット)は、平成13年3月に設立した演劇グループです。現在、18歳以上の社会人や学生など10名の団員で日々演劇の創作活動に取り組んでいます。平成17年7月までは光陵中コミュニティスクールを稽古場としていましたが、同年12月から4条通り仁志ビル2階たるまプラザに移し活動中です。

これまでに平成13年9月の立ち上げ公演「売春捜査官 岩見沢三条小路殺人事件」をはじめ、市内各所で7回の公演を開催してきました。

平成17年からはNPOはまなすアート&ミュージックプロジェクトに協力して演劇手法による表現力、想像力、コミュニケーション力、自己認識、他者理解といった教育プログラムに関わりながら、団員のスキルアップを目指し、自己満足の公演に陥らず地域貢献的活動を並行的に取り組む演劇集団として活動しています。

みなさんも私たちと一緒に演劇をやりましょう！

開催日・場所	公演名
平成13年 9月 8日 酔月亭	売春捜査官 岩見沢三条小路殺人事件
平成14年 6月15日 コミュニティプラザ	時よ朝に還えれ
平成14年12月18日 市民会館中ホール	ブリザード・ミュージック
平成15年 6月 7日 市民会館中ホール	みんな森の中(オリジナル)
平成15年12月 6日 コミュニティプラザ	ビューティフル・サンデー
平成17年10月29日 大空会館	ビューティフル・サンデー
平成18年 5月13日 たるまプラザ	ビューティフル・サンデー(アトリエ公演)



第4回公演「みんな森の中」(市民会館中ホール)

★団費 社会人 入会金5千円
学生他 月額2千円
★座長 竹内修一 月額1千円
(TEL) 23局 2730

指導室から

最近、夜遅くまで起きていたり、朝ご飯を食べずに登校する子どもが増えているといえます。そこで、岩見沢市の小中学生が朝ご飯をしっかりと食べているかどうかを調べてみました。

すると、小中学生全体の約6.5%が毎日またはほとんど朝ご飯を食べていないということがわかりました。学年が上がるにつれてその比率が高くなり、中学3年生では約9.5%、約10人に1人が、一番少ない小学1年生でも約4.8

%、約20人に1人が朝ご飯を食べていないという結果でした。

夜遅くまでテレビやゲーム、パソコンに熱中し、就寝時間が遅くなり、眠くて朝ご飯をしっかりと食べられない。こうした子どもの生活スタイルは、学校の授業への集中力や体力にも影響を及ぼします。寝不足で朝ご飯も食べずに登校しても勉強の能率が上がるはずはありません。

国立教育政策研究所で行った調査では、「朝ご飯を必ず食べる」小中学生が「毎日またはほとんど食べない」小中学生より、テストの得点が各教科で1割以上高かったという結果が出てい

ます。
学力の向上は、「早寝・早起き・朝ご飯」から始まります。

子どもに基本的な生活習慣を育成し、生活リズムを正すことが大切です。

発刊にあたって



教育長 堀 敏一

日頃から岩見沢市の教育行政につきまして、格段のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、このたび市民の皆様に出来る限り岩見沢市の教育に関わった情報をお伝えできればこの思いから、教育広報「いわみざわ市の教育」を発刊する運びとなりました。

本広報では、教育委員会の取り組みをはじめ、学校活動や市民のスポーツ・文化活動など、教育の幅広い分野にわたって様々な取組みを紹介して参りたいと考えております。

ご承知のとおり、現代社会には多く

の情報があふれ、多様な価値観・生活環境の中で、教育現場は多くの新しい課題に直面し、市民生活も様々な変化を見せております。子どもたちは、自ら学び生きる力を持つことが重要となり、社会人も心豊かな生活へ向けての生涯学習が必要となって参りました。こうした中で刊行する「いわみざわ市の教育」は、重要な役割を担っているといえます。

本広報を通じて、皆様がこれまで以上に本市の教育発展のためにお力添えをいただきますとともに、学校・家庭・地域・行政の連携が一層深まることを心から願い、発刊にあたってのご挨拶いたします。

家庭でできる

簡単給食レシピ♪

夏野菜を使って

ナストマミート



※材料（4人分）※

・なすび	80 g
・豚ひき肉	100 g
・玉葱	200 g
・ケチャップ	24 g
・皮むきトマト	30 g
・コンソメ、塩、こしょう	少々
・とろけるチーズ	30 g

※作り方※

- 1 玉葱はみじん切り。なすびは薄いいちょう切り。
- 2 玉葱、挽き肉、なすびをよく炒める。
- 3 ケチャップ、トマトを入れてさらに炒める。
- 4 コンソメ、塩、こしょうで味をととのえる。
- 5 最後にチーズを入れ、とけたらできあがり。

- ・キタノカオリのパンと相性ピッタリ！オススメです。
- ・なすびが嫌いな子どももおいしく食べられます。
- ・なすびが嫌いな場合は、薄く小さく切るのがポイント！

=ご意見・ご要望をおよせください=

<担当>

岩見沢市教育委員会企画総務課情報企画係

〒068-8686

岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号

TEL (0126)23-4111 (内線 416)

FAX (0126)25-2995

MAIL ejyouhou@i-hamanasu.jp